

児童発達支援事業自己評価表(事業所向け)

	チェック項目	はい	いいえ	改善目標・工夫している点
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○	・活動内容を工夫している
	② 職員の配置数は適切であるか	○		・なるべく必要なお子さんに担当個別で対応できるように配置している ・契約者に職員紹介のプリントを渡すようにする
	③ 生活空間は、本人に分かりやすく構造化された環境になっているか。また障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮がなされているか。		○	・賃貸であり、段差等が所々にある。 ・危険予測される箇所にはクッションを付けるなどしている ・絵カードを使ってスケジュールの提示を行なっている ・個別で必要なお子さんにはコミュニケーションツールとして絵カード使用 ・活動の邪魔にならず危険がないような素材のネームを付ける ・道具は適切な方法で使っていく
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		・毎朝の掃除 ・空調の整備
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		・中間評価を行い定期的に目標の振り返りを保護者と一緒に行っている ・活動のリーダーと個別の担当を中心に定期定期に話し合いの場がある ・目標の進捗状況に応じて目標の変更を行いスタッフ間で確認を行う
	⑥ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		・年に1回実施
	⑦ 事業所向け自己評価及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の開放やホームページ等で公開しているか	○		・している
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○		・していない
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		・朝読書・研修報告実施 ・必要に応じて、ミーティングの際に学習会を行なう ・外部の研修会の告知と参加の斡旋

適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		・サービス利用計画に基づき活動への参加状況、母親からの聞き取りを中心に計画を作成
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		・遠城寺式。乳幼児分析的発達検査表その他、関係医療機関で行ったテストバッテリーの結果から情報収集を参考にしている
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの『児童発達支援の提供すべき支援』の「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		・こころがけている
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		・行われている
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		・確認をチームで行い、事前に改善、変更できるようにしている
	⑮	活動プログラムが固定化しないように工夫している	○		・季節の行事を取り入れたり、素材は一緒でも内容に変化をつけて発展させるなど固定化しないように工夫している
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成しているか	○		・集団療育が主なのでその中で必要に応じて個別の対応を心がけている
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		・グループ開始前にリーダーから内容の周知が行われ、スタッフの役割分担を明確にしている。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		・活動終了後に、振り返りを行い支援内容の検討から次回の留意点を確認している
	⑲	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		・療育日誌を毎回確実に記入し、個人記録として残している
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		・相談支援員を中心に行っている
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		・児童発達管理責任者若しくはグループリーダー・個別担当が出席
㉒	母子保健や子ども、子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			

関係機関や保護者との連携	⑳	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等も支援している場合)地域の保険、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか			・対象外
	㉑	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等も支援している場合)子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			・対象外
	㉒	移行支援として、保育所や認定子ども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容との情報共有と相互理解を図っているか	○		・移行支援シートを積極的に活用
	㉓	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		・移行支援シートを利用
	㉔	他の児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		
	㉕	保育所や認定こども園、幼稚園との古流や障害のない子どもと活動する機会があるか		○	・保育園・幼稚園に通っている子がほとんどである
	㉖	(地域自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議へ積極的に参加しているか	○		・肝属地区、曾於地区のこども部会に参加
	㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		・毎回活動前後に近況を尋ねたり、活動への参加状況を伝えている
	㉘	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	・ペアトレに関しては特に必要性を感じているので、今後取り入れていく事を検討中
	保	㉙	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○	
㉚		児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		・利用開始時、中間評価後、年度替わりに個別支援計画を作成、変更し保護者に説明を行って同意を得ている
㉛		定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		・必要に応じて専門職につないだりもおこない、十分助言・支援は行えている
㉜		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	・保護者会は今後の課題 ・保護者の意見も聞きながら保護者会等も検討していく

保護者への説明責任等	③⑥	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		・苦情受付窓口の設置
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		・月報発行
	③⑧	個人情報に十分注意しているか	○		・個人情報は個別にファイル、スタッフ室に管理しており、関係者以外の目に触れないようにしている。
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		・写真カード。絵カードの使用
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	・行っていない
	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		・職員には周知しているが、保護者への周知は行えていない ・常設するように整備する
非常時の対応	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		・年に1回実施
	④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作の子ども の 状況を確認しているか	○		・保護者空の聞き取りにて把握している
	④⑭	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		・医師の指示所は確認しておらず、保護者への確認で対応している
	④⑮	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		・行っている
	④⑯	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		・県の行っている研修への参加
	④⑰	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		・身体拘束の内容はスタッフで確認している ・身体拘束が必要なお子さん(一)